

会議名	令和元年度第2回港区指定管理者選定委員会
開催日	令和元年7月25日(木) 午後3時30分から4時45分まで
委員	[出席者] 田中副区長(委員長)、浦田企画経営部長(副委員長)、大浦企画課長(区役所改革担当課長兼務)、荒川財政課長、湯川総務課長、吉田契約管財課長 [欠席者] 北本総務部長(副委員長)
出席所管課長	①村上芝地区総合支所まちづくり課長 ②近江高輪地区総合支所まちづくり課長 ③金田高齢者支援課長
事務局	企画担当(山田、老後係長)
会議次第	1 開会 2 議題 (1) 指定管理者の選定について ①江戸見坂公園 ②芝地区公園・児童遊園 ③高輪地区公園・児童遊園 ④介護予防総合センター 3 閉会
配布資料	資料1 江戸見坂公園 資料2 芝地区公園・児童遊園 資料3 高輪地区公園・児童遊園 資料4 介護予防総合センター ※資料内容 資料● 指定管理者候補者選定調書 資料●-2 指定管理者候補者選考委員会報告書 資料●-3 指定管理者応募者提案内容の比較表 資料●-4 職員配置表 資料●-5 選考委員会採点表 資料●-6 選考委員会議事録 資料●-7 指定管理者指定申請書(他、添付書類等) ※資料4のみ 資料● 指定管理者候補者選定調書 資料●-2 指定管理者指定申請に関する審査表 資料●-3 職員配置表 資料●-4 指定管理者指定申請書(他、添付書類等)

会議の結果及び主な発言	
	<p>1 指定管理者の選定について</p> <p>①江戸見坂公園</p> <p>②芝地区公園・児童遊園</p> <p>③高輪地区公園・児童遊園 (所管課長から指定管理者候補者選定調書等の説明)</p>
高輪・まちづくり課長	
浦田副委員長	高輪地区も現行の事業者が再び候補者となっているが、執行体制に見直しはあるのか。また経費の増加理由はどのようなことか。
高輪・まちづくり課長	高輪森の公園を管理するグループとその他の公園等を管理するグループが分かれていたが、今回から1本に統合される。 経費増の見込みは主に人件費の伸びであり、毎年2.2%程度の上昇を見込んでいる。
湯川委員	夜間の巡回点検の頻度はどうなるのか。
高輪・まちづくり課長	夜間の巡回点検は、職員が実施していた時と同様に、2か月に1回であり、公衆便所の灯り等を点検している。 また、週に1回、公園の巡回点検を実施しており、この頻度は職員が行う回数より少ないが、遊具や植栽の専門知識が豊富であるため、従来より効果的な点検を行うことができる。
湯川委員	資金計画と人員配置について、車町児童遊園が対象から除かれるとどのように配置等に影響するのか。
高輪・まちづくり課長	人員配置は6名を予定しており、車町児童遊園が除外されても、体制的に変動しない見込みである。
委員長	グリーバルは、アメニスと同じ社屋であるが、グループ企業か。
高輪・まちづくり課長	グループ企業であるが、それぞれ得意とする分野が異なっており、その強みを効果的に活用するために得意分野を再委託している。
委員長	本来、指定管理者となる事業者は、再委託を必要としないのではないか。特別な専門性を必要としない業務まで再委託する必要はないのではないか。

高輪・まちづくり課長	グリーバルは特に植栽に長けた事業者であり、遊具や清掃に関する業務は、別の事業者のほうが長けていると思われる。
委員長	<p>それであれば、日比谷花壇のようにJVを組んで応募させるべきではないか。安易な再委託は認めるべきではない。適切な応募・提案がなければ、再公募とすべきである。選考委員会では再委託についての議論はなかったか。</p>
高輪・まちづくり課長	<p>再委託の考え方については議論があった。コアな業務が再委託されていないか、費用対効果の面でメリットがあるか、といった点についてである。</p> <p>コアな業務が再委託されるということはないが、樹木の選定は繁忙期には一手に負えないので、協力を仰ぐ意味で再委託することがありうる。また、清掃業務についても、トイレの防汚処理など専門性を必要とするものもある。</p> <p>コアの業務は指定管理者自らが担い、他の部分は再委託で他の事業者を効果的に活用するというものである。</p>
委員長	<p>他に質疑がなければ、選定結果については了とする。</p> <p>④介護予防総合センター</p>